

## トータルケアライフ株式会社の従業員の皆様へ

コロナウィルスの影響が出ている中、毎日のお仕事、本当にお疲れ様です。

昨日、滋賀県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策における判定基準が「警戒ステージ」より「限りなく注意ステージに近い警戒ステージ」に移行することが発表されました。

これに伴い6月1日より施設対応を以下のようにいたしましたので、皆さまに周知したく、お伝えいたします。

※必ず全従業員、目を通して頂くようお願いいたします。

### 【入居者様の面会について】(解除)

人数(2名まで)、面会時間(15分以内)の制限を設け、面会可能といたします。

面会の際には検温、消毒、マスク着用をお願いすることとします。

面会場所は入居者居室のみとします。(ホール、喫茶での面会はお断りいたします)

面会解除に伴いWEB面会を終了といたします。

### 【入居者様の外出について】(一部解除)

ご家族とご自宅への外出は可能とします。

近隣コンビニまでの買い物は可能とします。

上記以外の外出(大型ショッピングセンターや外食)についてはご家族と一緒にであってもお控えいただくようお願いすることとします。

### 【施設見学について】(制限継続)

5月末までの対応を継続いたします。

### 【各種会議・委員会の開催について】(制限継続)

5月末までの対応を継続いたします。

### 【通所系・訪問系のサービスの利用について】(解除)

検温、手指消毒、マスクの着用と入館誓約書を提出のうえで受け入れいたします。

### 【出入り業者の入館形式について】(制限継続)

5月末までの対応を継続いたします。

### 【レクリエーションの実施について】(一部解除)

少人数(1~2名)のボランティアが参加するレクリエーションは開催予定とします。

買い物ツアー、外食ツアーはしばらく中止を継続します。

秋祭りにつきましては「祭り」形式の開催はいたしません。「祭り」の表現を使用せず、代替の催し物を開催いたします。

日帰り旅行に関しては行動範囲を狭めたプランを作成（滋賀県内）、開催時期もしくはそれまでの状況を鑑み中止の可能性もあります。

#### 【外部研修の受講について】（解除）

基本受講可能といたします。

受講に関しては受講時の感染状況（講座開催地域）により可否の判断することがあります。

判断に迷った際には受講の要不要や可否について上長まで確認をお願いいたします。

#### 【職員の出勤時対応について】

現状の対応を継続。

##### ・感染予防

今まで通り、出勤時の検温、そして正しいマスクの着用と、手指消毒などの予防対策の継続をお願いいたします。

##### ・プライベートでは、「3密」を避ける

今後は別添2「新しい生活様式」を参考にご自身の行動を判断ください。

必ず「3密」を避けるようお願いいたします。

出勤可否の判断については本日、5月29日に再配布した「新型コロナウイルス 出勤判断基準」の確認をお願いいたします。

#### 【入居者様感染対応について】

感染対応基準) ①入居者のご様子や訴えに、いつもの様子とは異なるいずれかの症状が見られる際、看護部・介護部、相談の上、感染対応の必要性を判断する。

※高熱に関しては37.5分を目安とする

②慢性的症状ではない比較的軽い風邪症状（咳・鼻汁・味覚障害等）がみられる場合、看護部・介護部相談の元、感染対応の必要性を判断する。

感染解除基準) ①②いずれも、該当する症状が2日以上見られない。

※3日目に症状確認後、感染解除。

※今回の（緩和）（解除）対応は 滋賀県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策における判定基準が「限りなく注意ステージに近い警戒ステージ」にある場合のみです。

「警戒ステージ」以上になった場合には再度、面会の制限等を早急に実施いたします。

令和2年5月30日

トータルケアライフ株式会社

代表取締役 高谷 政市

(参照)

## 新たな3つのステージの区分

		特別警戒 ステージ	警戒 ステージ		注意 ステージ
判断指標	緊急事態 宣言	大阪、京都に 関係なく判断	大阪または 京都に発令		大阪、京都に 発令なし
	経路不明の 新規感染者	7日間で 複数確認	7日間で 1人まで		14日間 連続ゼロ
	病床稼働率	60%以上	30%以上		30%未満
	人工呼吸器 の稼働率	60%以上	30%以上		30%未満
要請内容	県をまたぐ 移動	自粛要請	自粛要請		対策を 前提に 制限なし
	イベント	自粛要請	自粛要請 (50人以上 の規模)	対策を 前提に 制限なし	対策を 前提に 制限なし
	休業要請	実施	実施	対策を 前提に 制限なし	対策を 前提に 制限なし

(参照 2)

## 「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒     咳エチケットの徹底     こまめに換気
- 身体的距離の確保     「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 食卓

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務     時差通勤でゆったりと     オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン     名刺交換はオンライン     対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定